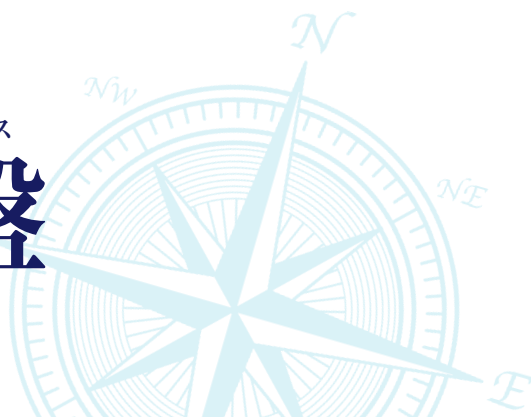


— 特集 —

未来への羅針盤

～心の針が指す道へ～



「自分はどんな仕事がしたいんだろう？」

「自分が好きなことってなんだ？」

「これからの人生、どんな道に進もうか？」

多くの“？”を抱え、人生の岐路に揺れ動く高校生たちの心の針。

そんな高校生と人生のセンパイである大人が巡り合い、

自分らしい道へと針路を定めるきっかけになれば。

今回は、高校生の背中を押す取り組み「釜石コンパス」を紹介します。

「きっかけさん」 に聞いてみた

NHK 釜石支局 記者
村田 理帆 さん



「自分の仕事の軸」を意識してお話しました。実際に高校生と話してみて「やりたいことがない」という子もいたんですが、それはやりたいことにまだ出会っていないのだと思います。なので、チャンスがあった時は視野を広げるためにも、チャレンジしてほしいということを伝えました。また、自分が作った記事で泣いてくれる子もいて、記者冥利に尽きるなと思うとともに、高校生に話をしたことで、自分が記者になりたいと思うようになった“軸”を振り返ることができました。

岩手医科大学附属病院
看護師
千田 祥子 さん



今の決断で一生が決まると思いがちですが、自分の気持ちを尊重した決断を都度重ねることで、理想の人生に近づけると 생각합니다。勉強ももちろん大切ですが、自分と向き合う機会も作ってほしいと伝えました。自分を知ること、何のために誰のためにどんな手段で働きたいのか、進む道のヒントを得られると思います。自分の夢の原点を振り返ったことで、後輩達の今とこれからを応援したい、共に働く後輩への気持ちに寄り添ったフォローをできる自分でありたいと感じました。

UBS 証券
青木 健治 さん



6年間、断続的に参加しています。子どもは親の鏡と言いますが、対話セッションで話していると、生徒たちは社会の鏡なのだと感じます。釜石や日本、世界の変化が、生徒たちの話や振る舞いの変化に表れているように見えるからです。とはいえ、生徒たちが自ら映し取れることには限りがありますので、対話セッションではそこに広がりを与えられたらと思っています。



自ら行動するために

釜石コンパス実行委員長
青木 健一



東日本大震災で辛く大変な思いをした地域の子どもの未来が少しでも明るいものになるよう、何か手伝えることは出来ないかと、ご縁を頂いた地域外の大人の声から始まったのが釜石コンパスです。私自身、自分が大人になって初めて、あの時もっとと人生の先輩である大人から色々な話を聞き、考えることが出来ていたらと思う事があります。生徒一人一人が将来へ向かって自ら考え行動することへのお手伝いは地域の大人が果たすべき未来への責任だと考えています。

未来に種を植える

釜石コンパス実行委員
むくの なおりの
向野 修得



きっかけさんが生徒達に話してくれる話の中には、高校生には想像がつかない話もあるかと思えます。しかし、ここで聞いた話や対話した経験は、大学生や社会人になってから、ふと実感を持っているのだと思っています。そういった意味で、この活動は今の進路選択をより良いものにするだけでなく「未来に向けて種を植える」活動だと捉えています。活動9年目を迎え、最近では、過去の受講生徒が、今度はきっかけさん側として参加してくれるようになりましました。コンパスを覚えていまして、と言ってくれるのも嬉し

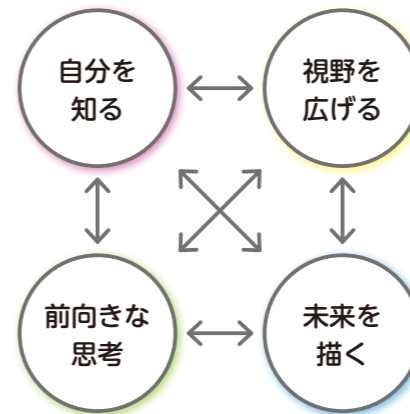
釜石コンパスって？

自分らしい一歩を 踏み出すきっかけに

釜石コンパスは、高校生が人生のセンパイである地域内外の大人たちから、生き方・働き方を学ぶプログラムです。多様な大人たちとの出会いや交流が、これからの進路選択のヒントやきっかけになれば…との思いから、講師の大人たちを「きっかけさん」と呼び、高校生たちの自分らしい一歩を踏み出すためのプログラムを提供します。仕事だけでなく、今までの経験や考え方など「きっかけさん」の人生そのものにも触れられることも、釜石コンパスの特長です。学校との密な連携により、高校生たちの志向・傾向も反映しながらプログラムを形成しています。

大切にしたい4つのこと

プログラムの基礎となる4つの要素を各回のプログラムに盛り込みながら、相互作用を生んでいきます。



主なプログラム

対話セッション



コンパスの柱となるプログラム。グループで、きっかけさんと交流します。

1on1セッション



きっかけさんに1対1で具体的な質問や相談が出来る時間です。

ワーク



自己分析やプログラムの振り返りなどを、ワークシートを使って行います。

講演



初めてのコンパスや最終回の時などに、講演やレクチャーを実施します。

釜石コンパスが生まれるまで

このプログラムは「高校生」「学校・先生」「保護者」「地域・行政」といった皆さんの思い・ニーズから2015年に誕生しました。

高校生

- 地域や社会のことを知りたい
- 学校や家族以外からの情報も欲しいけど、どうすれば…?
- でも授業や部活動も忙しい

学校・先生

- 地域と接続した学びの機会を作りたいけど、地域とのつながりってどうやって作ればいいの?
- 授業や部活指導だけでも忙しい

保護者

- 学校でどんな進路サポートが?
- 進路決定のプロセスは?
- 子どもには好きなことを見つけたい

地域・行政

- 地域をもっと知ってほしい
- 自分の経験やスキルを若者のために活かしたい!
- 高校生はどんなことを考えているの?



高校生の声



釜石商工高校 3年
田鎖 夢生 さん

保育士の方や福祉関係の方にお話を聞き、どちらも辛いことだけでなく、やりがいのある仕事だなと思いました。lon1セッションでは、自分が悩んでいた就職するか進学するかなどについても聞けました。これまでは就職しようと思っていたけど、進学も視野に入れて考えようかなと思いました。オープンキャンパスにも行ってみたいと思います。



釜石商工高校 3年
三浦 大和 さん

進みたい方向はある程度決まっているのですが、いろんな仕事を見たり聞いたりすることで、さらに視野が広がると思いました。実際に働いている人と話す機会はなかなか無いので、仕事内容や休暇、給与などもこういう場の方が聞きやすかったです。「自分のしたいことをした方がいいよ」と言われて、さらに自分のやりたいことを明確にしたいと思いました。



釜石高校 2年
金崎 紗良 さん

留学経験のある2人のきっかけさんの話を聞いて、やっぱり実際に海外に行ってみると新たな関わりが生まれたり、生活も変わると聞き、自分も経験してみたいなと思いました。自分がやりたいことを仕事にしている人の話を聞いてカッコいいと思ったので、自分もやりたいことに向かって頑張りたいと思いました。

釜石高校 2年
藤原 和海 さん

海外に興味があって留学経験のある2人のきっかけさんの話を聞きました。どちらも海外に行ったことで人生観が180度変わったということを知り、自分も行ってみたいなと思いました。普段の生活では「とりあえず良い大学に行かなきゃ」ってなりがちだけど、自分がやりたいことを中心に考えなきゃなと思いました。

釜石高校 2年
川崎 未祐 さん

「失敗は悪いことじゃない。反省し、その経験を次に生かせば、失敗は財産になる」ということを聞き、失敗を恐れずに挑戦することが大事だなと思いました。lon1セッションでもアドバイスしてもらった「大きいことを成し遂げようと思うよりも小さいことを一つ一つやっていくこと」を意識していきたいです。



釜石高校 2年
立花 陽菜 さん

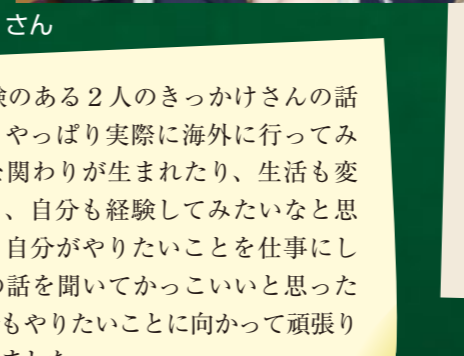
親や先生に言いにくいことも話しやすいし、きっかけさんも自分のことをはっきりと知らない分、率直な意見を聞くことができ、自分の道を応援してくれました。

また、苦手な教科を使って進学したきっかけさんがいて、自分は好きな分野を使うことを主に考えていたけど、苦手な教科の先にもやりたい仕事があるかもしれないなと思いました。

釜石高校 2年
矢浦 望那 さん

前のコンパスでも自分がそれまで知らなかった仕事を聞いて、興味を持ち始めました。

好きなことを極めることも大事だけど、苦手なことに挑戦してみても分かることもあるよと言われて、そういう考え方もあるんだなと思いました。お話を聞いていて、自分自身のことも全然知らないなと思ったので、自分を知り、興味があることを明確にしていきたいです。



釜石高校 2年
金崎 紗良 さん

留学経験のある2人のきっかけさんの話を聞いて、やっぱり実際に海外に行ってみると新たな関わりが生まれたり、生活も変わると聞き、自分も経験してみたいなと思いました。自分がやりたいことを仕事にしている人の話を聞いてカッコいいと思ったので、自分もやりたいことに向かって頑張りたいと思いました。

釜石高校 2年
藤原 和海 さん

海外に興味があって留学経験のある2人のきっかけさんの話を聞きました。どちらも海外に行ったことで人生観が180度変わったということを知り、自分も行ってみたいなと思いました。普段の生活では「とりあえず良い大学に行かなきゃ」ってなりがちだけど、自分がやりたいことを中心に考えなきゃなと思いました。

釜石商工高校 3年 久保 達 さん



保育士の方と福祉関係の方にお話を聞きました。将来は保育関係の仕事に就きたいと思っていて、lon1セッションでは専門学校の話や、保育士のいいことだけでなく、大変なことも聞いて参考になりました。普段ではなかなか聞けないことが多いのでこういう機会は非常にありがたいです。自分が進もうと思っている職とは違う職種も、他の仕事を知る上で参考になりました。



釜石高校 2年 平野 凜 さん

起業をしているきっかけさんから「起業するか、会社員としてやっていくかはその人の考え方によって向き不向きがある」ということを聞いて、すごく印象に残りました。今回初めて記者がどんな仕事をしているかを知りました。「伝える」ということをこれまでそれほど意識していなかったけど、そういう仕事も面白そうだなと思いました。親や先生とは別視点での話を聞いて、視野が広がりました。

釜石高校 2年
佐々木 北斗 さん

「きっかけさん」は、生き方の中で軸があるなと思いました。大学では、心理学を勉強したいと思っていて、将来はあらゆる人に寄り添えるような仕事をしたいと思っているので、自分の生き方の中でもそれを軸にしていきたいと思いました。

また、人に教えることで自分の成長にもつながると聞いて、自分もこれから挑戦していきたいです。



釜石高校 2年
白川 洸太 さん

起業は難しい印象があったけど、工夫をすればハードルはそこまで高くないということを知りました。記者さんの経験や仕事の話を通してですが、それぞれの職業でどういう仕事をしているのか、世の中でどういうことが起きているのかなどを自分が全然知らないなと思いました。今回で自分の視野が広がった感じがするので、これから調べていきたいです。

高校生を応援しませんか？

今後も持続的なプログラム実施のため、釜石コンパスでは寄付・きっかけさんを募集しています。寄付・講師参加で生徒達の未来への「きっかけ」づくりをサポートしてみませんか？

講師募集



寄付募集



問い合わせ 釜石コンパス実行委員会事務局（市オープンシティ推進室内）
☎ 27-8463 ✉ kamaishicompassoffice@gmail.com